



杉並景観録第24号～永福体育館・荻窪つどい公園

樹木のふしぎ／ビワ

みどり探訪／遅野井川親水施設

緑の歳時記／アレチヌスビトハギ

特集／「落ち葉感謝祭2018」開催

みどりの窓／公園にキッチンカーが登場

園芸ワンポイント／観葉植物 冬の管理

樹木のふしぎ

ビワ (枇杷)

ビワといえば、卵型をしたオレンジ色の実が印象的ですが、どこでも見られる果樹です。11～12月頃に地味で目立たない花を咲かせます。

初夏に、短い時期だけ味わえる実をつけます。

◆どんな木ですか

バラ科の常緑高木で、高さ6～10mになります。15～20cmの大型の長楕円形をした光沢のある葉が互生します。葉裏には褐色の綿毛が密生します。

◆どんな花ですか

枝先に円錐状に白花を多数つけます。花からは優しい香りが漂います。花径は約1cm、花弁は白色で5枚あります。

◆名前の由来は

楕円形をした肉厚の葉の形または果実の形が楽器の「琵琶」によく似ていることから命名されたという説があります。

◆主な生産地と種類は

産地は長崎県がトップで全国の約3割を占め、代表的な品種は「茂木」「長崎早生」等があります。

◆花言葉は

「治癒」という花言葉は、ビワの葉や種が古来より民間療法として利用されてきたことに由来します。また、あまり気づいてもらえないような小さな花が、よく香ることから、「密かな告白」「静かな想い」という花言葉もあります。



花



実



葉裏



つぼみ

みどり探訪

おそ の い がわ

夢水路～遅野井川親水施設



シモツケ

クサノオウ

ツユクサ

みんなの夢水路整備事業ってご存知でしたか？都立善福寺公園の上の池と下の池を結ぶ水路を区が再整備したもので、今年7月に「遅野井川」としてオープンした水辺です。長さ160mの水路には、井戸水をポンプでくみ上げた澄んだ水が流れ、水深10～15cm、水と親しむことができる施設です。衛生上、ペット

は入れません。

元々あった水路を、地元小学生の熱意を受けて、区が地元住民などと協力して整備を進めてきました。かつては子どもたちの遊び場として小川だった頃の往時をしのび、安らぎと憩いの場として親しまれるよう「遅野井川親水施設」と名付けられました。

遅野井川には、武蔵野の自然を復活させたいと、30種類以上の在来植物が植えられました。

水辺には、ミズヒキ、オオイヌタデ、シモツケ、クサノオウ、ツユクサ。せせらぎを気持ち良さそうにしているコサギも。

遅野井川で自然観察や保全等の活動を行う「遅野井川かっぱの会」の共同代表・伊地知さんは、「このせせらぎは、人だけのものではなく、多くの生き物たちのものでもある」という思いをもって、遅野井川を守っています。

谷川の雰囲気がたどよう遅野井川



流れは井戸水のくみ上げで



流れと触れ合える親水テラス



水遊びする親子



車椅子の入れる観察デッキ



かっぱの会かべしんぶん。川近くの掲示板で読めます。



活動中の「遅野井川かっぱの会」のみなさん



緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

アレチヌスビトハギ (荒地地盗人萩)

マメ科/北アメリカ原産の多年草

茎は高さ50～100cmで毛があり、葉は3枚の小葉がある複葉です。小葉は長さ5～8cm、幅2～4cmで、両面とも毛が多いです。

花は紅紫色の蝶形で、長さ6～9mm、まるくて大きな旗弁(右図参照)が目立ちます。花期は9～10月です。

果実は扁平で4～6節にくびれ、実の上縁はほぼ直線状、下縁は急角度に

曲がり、各節間は三角形に近いです。

昭和15年に大阪で発見され、関東以西に多く見られます。杉並区内では井草森公園、松溪公園などで見ることができます。

在来の「ヌスビトハギ」との見分け方は(右図参照)、果実が熟すと中央の節のところで大きく2つにくびれるので、見分けられます。



蝶形の花
旗弁
翼
竜骨弁 翼弁
アレチヌスビトハギ
ヌスビトハギ

なお、果実の形を盗人の忍び足の足跡に見立てて「ヌスビトハギ」の名前がつけました。

景観録
第二十四号
並杉



新たな公共施設・公園が
オープン

永福体育館（永福1-7-6）

旧永福南小学校を改修して平成30年9月1日に永福体育館が移転オープンしました。近隣への影響を配慮し、配置や色彩など、神田川流域のみどり豊かな景観に寄与する建物となっています。

● まちなみの連続性を配慮するため、外壁や屋根形状、バルコニーはそのまま利用し、外観の大きな変化を避けるようにしています。

● 外壁の基本色は白系の明るい色を採用し、河川や隣地境界に近い壁面は植栽の調和を大事にし、強調色をなるべく使用しないようにしています。

● 可能な限り既存樹木を生かして、とまりのみどりと連続するように、新規植



▲神田川沿いの既存樹木



▲全面にホワイトサンドが敷かれたビーチコート



栽を配置しました。

また、道路沿いのみどりがより多く確保できるよう工夫をしています。

荻窪つどい公園（荻窪4-15-27）

東京フリーメソヂスト杉並中部教会から寄付を受けて平成30年4月に開園しました。

この場所は教会として、また幼稚園として長年地域の人々の交流・思い出の場でした。そこで、既存の建物の形態・色彩を参考にし、既存樹木を活用することで、場所の面影を継承するような景観形成を図っています。

● 教会のシンボルツリーであったヒマラヤスギやハクモクレン、フジ、ロウバイなど長年地域の人々に親しまれてきた既存樹木を残し、みどりの多い周辺の住宅地と連続性、一体性を確保しています。

● テーマカラーは教会の白壁からヒントを得たアイボリーとし、みどりと調和した色味としています。
● エントランスは奥行きを十分取り、道



▲シンボルツリーのヒマラヤスギ



奥行きのあるエントランス▶



路の舗装と調和させ、やさしい印象を与える色の平板ブロック舗装としました。フェンスは大田黒公園周辺地区にふさわしいブラウンを基調とした色味としています。

お菓子の家づくり、まちづくり教室を開催します

お菓子の家づくりを通して、子どもたちに建物やまちづくりに対する興味を持ってもらおうというイベントです。どういった家にするか設計図を作り、好きなお菓子を選んで家を組み立てます。最後には出来上がった家を並べた「まちづくり」まで完成させます。

【日 時】平成30年12月22日（土）午後1時30分～4時

【会 場】産業商工会館展示場（阿佐谷南3-2-19）

【対 象】小学生とその保護者30組

【参加費】1組1000円

【申 込】広報すぎなみ12月1日号をご覧ください。申し込み多数の場合は抽選。

【問い合わせ】東京建築士会杉並支部・大坂

E-mail: info@suginami-kenchikushi.org



▲どんなお菓子の家にしようかな♪



▲お菓子の家を並べて「お菓子のまちなみ」が完成



▲出来上がったお菓子の家



外壁の塗り替え等をする際の届出について

建物の新築、増築、改築、塗り替え等の際は景観法等に基づいて届出が必要な場合があります。

問い合わせは、都市整備部管理課庶務係へ（区役所西棟5階2番窓口）。



▲届出についてのチラシ



杉並の残したい風景展 2018

杉並にあるたくさんの美しい風景から残したい風景を選び描き、写し、展示します

【期 間】

11月23日(金)～26日(月)

9:30～16:30

最終日は15:00まで

【ギャラリートークのご案内】

11月26日(月)13:00～14:00

出品者によるギャラリートークとワンポイントレッスン「建物の描き方」

直接会場にお越しください



【会場】

角川庭園・幻戯山房
～すぎなみ詩歌館～
杉並区荻窪3-14-22



NPO法人東京を描く市民の会



大田黒公園「紅葉ライトアップ」

11月23日（金）～12月2日（日）

開催中は開園時間を延長し、特別にライトアップされた紅葉をお楽しみいただけます。幻想的な風景をご堪能ください。



【開園時間】

平日＝午前9時～午後8時（入園は午後7時45分まで）

土・日曜日＝午前9時～午後9時（入園は午後8時30分まで）

【ライトアップ時間】

平日＝日没～午後8時まで

土・日曜日・祝日＝日没～午後9時まで

催し	日 時	参加費
抹茶	11月23日(金)～25日(日)、11月30日(金)～12月2日(日) 午後2時～7時30分	1回500円
コンサート (箏の演奏)	11月25日(日) ①午後3時～3時40分 ②午後6時30分～7時10分 ※雨天の場合、12月2日(日)に順延	無 料

いずれも、当日直接会場へお越しください。

※開催期間中は混雑します。撮影時の三脚の使用はご遠慮ください（一脚は可）

【問い合わせ】大田黒公園管理事務所（荻窪3-33-12）

☎ 3398-5814

特集

落ち葉感謝祭2018

参加しよう！～1万人の落ち葉掃き～

平成30年12月1日 [土]



直接各会場へ

落ち葉掃きイベント

お近くの会場で落ち葉を掃いてみませんか。どなたでもご参加いただけます。(雨天中止)

会場(時間) / 内容	集合場所
阿佐谷会場 (午前9時～1時間程度) / 中杉通り：歩道上の落ち葉掃きとリサイクル作業 落ち葉掃き後、阿佐谷中央公園で掃いた落ち葉を使った腐葉土づくり体験	阿佐ヶ谷駅南口 駅前広場
蚕糸の森公園・大田黒公園・杉並児童交通公園・井草森公園・天沼弁天池公園 (午前9時～) 柏の宮公園・塚山公園・馬橋公園 (午前10時～) / 園路・外周道路の落ち葉掃き(1時間程度)	各会場の管理事務 所

(注意) ほうき・ちりとり・軍手はできる限り各自でご用意ください。

お楽しみイベント

【井草森会場】

井草森公園で、落ち葉プールや、自然素材を使った工作、草木染め、焼き芋などが楽しめます。

【時 間】

午前10時～午後3時。雨天の場合は催しの規模を縮小して行います。



落ち葉プール (井草森公園)

11月15日～12月14日は**落ち葉感謝月間**です。

落ち葉掃き団体
募集中！

私たちに様々な恩恵を与えてくれる落ち葉に感謝し、落ち葉をごみとしないで自然の物質循環に戻していこうという「みどりのリサイクル」の考え方に賛同して落ち葉掃きを団体でやっていただいた方は事務局までご一報ください。団体名を活動報告展にて発表いたします。

問い合わせ 落ち葉感謝祭実行委員会事務局 (北公園緑地事務所) TEL 3396-5261

みどりの
窓

公園にキッチンカー登場

皆さんにより楽しく公園を利用してもらえるように、キッチンカーが公園に登場します。キッチンカーが来る公園は、下高井戸おおぞら公園(下高井戸2-28-23)と桃井原っぱ公園(桃井3-8-1)です。

このキッチンカーですが、3月末まで試行的に行っているもので、5台のキッチンカーが不定期に公園にやって来ます。出店時間は午前10時～午後4時の間です。

販売されるのは、クレープ、ホットドッグ、タコスなどです。どのメニューが食べられるかは、来てのお楽しみ！

この機会に是非、公園へ来てお試してください。

問い合わせは、公園企画係へ



みどりの相談所の先生に聞く



みどりに関する相談は
塚山公園みどりの相談所
くさばな
☎03-3302-9387
 杉並区下高井戸5-23-12
 毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分
 休所日・年末年始(12/29～1/3)



観葉植物 冬の管理



熱帯、亜熱帯原産の観葉植物は、日本の冬の寒さに弱いものが多いです。そのため、春まで弱らせずに冬越しをするには、温度、日当たり、水やりが重要なポイントになります。

●温度

冬越しする最低温度を知り、その温度以上で管理します。下表は、植物が耐えられる最低の温度です。

冬越しの最低温度 (冬の生活適温は、最低温度プラス7～8℃)

0℃以上。(室外でも霜に当たらなければ耐えられる)
インドゴムノキ、ガジュマル、キダチアロエ、シェフレラ、シュロチク、シルクジャスミン、ストレリチア、デュランタ、フェニックス・ロベレニー
5℃以上
アレカヤシ、オリヅラン、ケンチャヤシ、ゴールデンポトス、ショウナンゴムノキ、チャマエドラ、フィカス・ベンジャミン、フランスゴムノキ、斑入りゴムノキ、ホヤ、モンステラ、ユッカ・エレファンティペス
10℃以上。(冬はできるだけ暖かい室内に置く)
アグラオネマ、アジアタム、アローカシア、アンズリウム、カラテア、クロトン、サンセベリア、スパティフィラム、ディフェンバキア、ドラセナ

※植物の生育状態や品種等により温度は上下するため、一つの目安としてお考えください。

●保温・加温の工夫について

最も寒くなる、朝の最低温度を上げましょう。小型の温室やワーディアンケース (寒さや乾燥から守るガラスやプラスチックのケース) で密閉すると保温・保湿ができます。昼間に30℃を超えないようにし、最高気温と最低気温との差を15℃以下にするように気をつけます。



加温の際、湿度が下がり、調子が悪くなる場合があります。その場合は霧吹き・加湿器を利用しましょう。

●日当たり

植物は日光と水と炭酸ガスから葉緑素を利用し、炭水化物を作っています。この光合成には光が不可欠のため、植物を日に当てることは重要です。

冬の日射量は真夏の半分以下、日照時間も短くなってしまっているので、できるだけ窓際の日当たる場所に置きます。

しかし、直射日光に弱い植物は強い日光の下で育てると、葉が黄ばんでしまうことがあるので、レースのカーテン、遮光ネットなどを利用します。

日当たり条件による置き場所

日当たりの良い場所
インドゴムノキ、キダチアロエ、クロトン、シェフレラ・アルポリコーラ、シルクジャスミン、ストレリチア、デュランタ、フェニックス、ユッカ・エレファンティペス、ホヤ
日が当たるが、直射日光を遮った明るい日陰 (レースのカーテン越し等)
ガジュマル、カラテア、サンセベリア、ドラセナ・コンシンネ、ドラセナ・デレメンシス、パキラ、フィカス・ウンベラータ、フィカス・ベンジャミン
日が当たらない日陰 (北向きの明るい部屋等)
アグラオネマ、アジアタム、アローカシア、オリヅラン、チャマエドラ、ディフェンバキア、フィカス・ブミラ、ボトスライム、モンステラ

●水やり

冬は吸水や蒸散が少なくなり、水やりを夏季と同じようにすると、過湿、根腐れの原因になります。土の表面が白っぽくなり、鉢土が中まで乾燥した2～3日後が水やりのタイミングです。鉢底から水が出るまでたっぷりと与え、受け皿に水を溜めないようにします。水やりの時間帯は午前9時までにはします。枝葉のみ乾く場合には霧吹きで水をかけるのも効果的です。

編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 親水施設に整備された善福寺公園の小川。身近に水にふれ、心安らぐ場所、ぜひお出掛け下さい。(原)
- 夢さそう水路、ひびきが良いですね。昔日照り続きの或るとき、湧水が。「遅かったなあ!」という言葉からの由来。取材行けてよかったです。(水)
- 今年は異常気象のせいか、植物の開花が早まったり遅れたり、はては返り咲き…があちこちで。人間の方は大丈夫でしょうか。(羽)
- 今号では善福寺公園の遅野井川親水施設を取り上げましたが、みどりと一体で水も景観に大切な役割を果たしています。(中)
- 控え目で奥ゆかしい枇杷の花。謙虚でありつつ自己主張のできる人間になりたいと思います。(み)
- 今回のみどり探訪の取材地は、今迄と違い水が加わり一寸新鮮でした。(小)
- 夏が大変暑かったせいでしょうか、木々の実なりがよいようです。サンゴジュ、ハナミズキ、ゴンズイ、イギリスの赤色の実、クリ、ドングリの仲間、トチノキの茶色の実、どっさり実っています。散歩の折探してみてください。実感間違いなし!(山)
- 枇杷の花 灯りをとむす 梅雨の頃 (石)



みどりの新聞 みどりとひと171号 平成30年11月20日発行
 編集・発行/みどりのボランティア 杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
 「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

